

# 外国語活動学習指導案

指導者 榎原 朱梨

- 1 日 時 令和5年11月18日(土) 第1校時(9:00~9:45)
- 2 学年・組 小学校複式中学年 計15名(3年男子4名, 女子4名, 4年男子4名, 女子3名)
- 3 場 所 小学校複式中学校教室
- 4 単元名 ぼく・わたしのお気に入り~なりきりクイズをしよう~
- 5 単元について

本単元は、My favorite ~ is ~.の表現を用いてお気に入りのものを尋ねたり答えたりし、伝え合うことをねらいとしている。単元終末には、複数の表現を用いながら、友達に関するなりきりクイズを行うという場面を設定している。クラスの誰かになりきり、クイズを行うためには、友達に関する情報を集めることが必要になる。日常生活の中でも友達に好きなものやお気に入りのものを尋ねたり、それに答えたりする姿が見られる。また、相手が質問に答えた際には、自然とリアクションをとったり、追加で質問したりする姿がある。本単元の学習は、このような日常生活に見られる自然なやりとりのように、使用する言語が英語であったとしても自分の尋ねたいことに応じて質問をし、相手が答えた際には相手の発話に反応しながらコミュニケーションを楽しむという態度の育成につなげることができるものである。

本学級は、3年生が8名、4年生が7名の異学年集団である。国語科や算数科などは学年別で授業を行っており、両学年とも日直が中心となって学習ガイドをもとにしながら自分たちで学習を進めている。外国語活動では、2年間の学習内容を圧縮し、2年にわたって学習する「くりかえし案」での学習を行っている。そのため、4年生は本単元で学習する表現についても一度学習を済ませている。3年生も1年生の時から月1回程度の英語の時間を経験しており、歌などを通して英語に慣れ親しんできた。授業中には、他教科同様3年生が分からないことがあれば4年生に尋ねる姿や、4年生も3年生が困っている姿を見ればそっと教える姿が見られる。

指導にあたっては、十分に表現に慣れ親しむ機会を設けるとともに、児童らが意欲的にやりとりを行うことができる場面設定を行うことで、どの児童も伝え合いたいという思いをもって取り組むことができるようにする。教科等本来の魅力である「コミュニケーションを図ることができるようになること」とは、本単元では児童にとって身近な他者である同じ学級の友達と関わりながら、自分の知りたいことに応じて尋ねたり、相手の質問に応じて答えたりすることと言える。「同じ学級の友達と関わりながら」には、自分の聞きたいことを聞くだけでなく、相手の返答に対し、頷いたり、何か言葉で反応したりすることも含まれ、実際のコミュニケーションでも重要なものであるといえるだろう。そこで本時においては、児童が今までの学習を生かしながら自然と反応する姿を取り上げ、学級全体に広げていきたい。また、コミュニケーションを図る際には、自分の伝えたいことに応じて必要な表現を選択し、質問したり、考えを述べたりすることが求められる。本単元では、なりきりクイズを行うにあたり、お互いのことについてより詳しく知るために、学習する表現以外にも今までに学習した表現を用いて質問をしたり、尋ねられたことに答えたりすることができるだろう。小学校外国語科では、「話すこと [やりとり]」の目標に「自分や相手のことおよび身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする」とあり、中学年までの経験を踏まえ、その場で自分の伝えたいことに応じてコミュニケーションを図ることができるようにすることが求められている。単元で学習する表現だけではなく、今までに学習した表現を想起し、自分が尋ねたいことに応じて質問を行ったり相手の質問に答えたりする経験を積むことで、その場で話す

ことに対する素地づくりを行っていきたい。また同時に、本学級が複式学級であることを踏まえ、単元を通して4年生が今までの学習を生かし、発話や会話のモデルとなって活躍できるよう、デモンストレーションの仕方やペアの組み方を工夫するようにする。

## 6 単元の目標

- (1) お気に入りのものについて尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- (2) 相手のことをより詳しく知るために、お気に入りのものなどについて伝え合う。
- (3) 相手に配慮しながら、お気に入りのものなどについて伝え合おうとする。

## 7 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと [やりとり]	ウ サポートを受けて、自分や相手のことおよび身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

## 8 指導計画（全5時間）

次	時	学習内容
1	1	「Who are you?」を読み、概要を捉えるとともに、「〇〇ですか」と尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
	2	「〇〇ですか」と尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむとともに、単元の見通しを持つ。
2	3	教室名の言い方を知る（復習）するとともに、お気に入りのものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
	4（本時）	相手のことをより詳しく知るために、お気に入りのものなどについて伝え合う。
	5	インタビューで得た情報をもとになりきりクイズを行う。

## 9 「教科等本来の魅力に迫るための教師の資質能力」との関連

基準	具体的な児童・生徒の姿
Ⅲ	相手のことをより詳しく知るために、相手の言葉に反応したり、今までに学習した表現を活用したりしながら、お気に入りのものについて尋ねたり答えたりしている。
Ⅱ	相手のことをより詳しく知るために、相手の言葉に反応しながら、お気に入りのものについて尋ねたり答えたりしている。
Ⅰ	相手のお気に入りものを尋ねたり、自分のお気に入りものについて答えたりする際にサポートがあったとしても単語のみで伝えている。
手立て【関連する教師の資質能力】	
児童が学習する表現を用いて尋ねたり答えたりしたいを思うような場面設定【授業構想力】	
児童が既習表現などを活用することができるような場面設定および意識できるような声かけ【授業構想力・授業実践力】	

## 10 本時の目標

相手のことをより詳しく知るために、お気に入りのものなどを尋ねたり答えたりする。

## 11 学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点（◆評価）
<p>1 Greeting and Songs</p> <p>2 Presentation of Today's Goal and Teacher's Talk 【なりきりクイズの例】 My favorite room is the music room. My favorite animal is a dog. I like Shibaken. Who am I?</p>	<p>○本単元で扱う表現を用いた歌を歌うことで、表現に慣れ親しむことができるようにする。</p> <p>○単元末の活動を想起することで、本時のコミュニケーションの目的を再確認することができるようにする。</p> <p>○本時のやりとりの例を示すことで、活動のイメージをもって取り組むことができるようにするとともに、表現の復習もできるようにする。</p>
<p>みんなのことをより詳しく知るために、お気に入りのものをインタビューしよう。</p>	
<p>3. Communication and Reflection</p> <p>①お気に入りのものについて伝え合う。 ②相手のことをより詳しく知るために、今まで学習した表現を活用しながら伝え合う。 【予想される児童の発話】 S1) What's your favorite sport? S2) My favorite sport is baseball. S1) Nice. What is your favorite animal? S2) My favorite animal is a cat. S1) Me too.</p> <p>4. Reflection of Today's Lesson</p>	<p>○活動の間で中間振り返りをするすることで、相手の言葉に反応するなど相手意識のあるやりとりを意識することができるようにする。</p> <p>○今まで学習した表現を想起するような声かけを行うことで、より相手のことを知るために既習事項も活用できるようにする。</p> <p>◆お気に入りのものについて尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。【知識・技能】</p> <p>◆相手のことをより詳しく知るために、お気に入りのものなどについて伝え合っている。【思考・判断・表現】</p> <p>◆相手に配慮しながら、お気に入りのものなどについて伝え合おうとする。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○できたことや友達とのやりとりについて振り返ることで、本時の学びを次につなげ、よりよいコミュニケーションの在り方や、尋ねたいことに応じたやりとりの仕方などについて考えることができるようにする。</p>